



代表理事組合長  
佐藤 謙 悦

# 一歩ずつ歩みを止めずに 着実に前進 夢と希望に満ち溢れた 地域作りを

新年あけましておめでとうございます。  
います。

組合員並びに日頃より当組合を御利用頂いております皆様には、輝かしい令和三年の幕開けを健やかに迎えのことに、謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、いよいよスポーツの祭典「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されると心躍らせていた最中、

北農政局が発表した県北地域の作況指数は105の「やや良」でありましたが、収穫期には数値以上の「豊作」を迎え入れることができた稲作農家の皆様の満面の笑顔を多々拝見することが出来ました。

全国的に米の消費量が年々減少する中、新型コロナウイルスの影響も相重なり、在庫量が増え続けている状況下で、「あきたこまち」の概算金が6年ぶりの減額提示となりましたが、秋田県産「あきたこまち」の作り手としての高いプライドを持って、当組合の概算金は全県JAではトップクラスとなる「あきたこまち」一等米1万3千円(60kg)を提示させて頂きました。今後更なる有利販売交渉に努め最終精算に向けて取り組んで参ります。

昨年、新しいことに積極果敢に挑戦する良き機会とされ、「肥料農業WEB注文サイト」の開設や、「一日農業バイトアプリ」の利用

開始、ねぎ部会GAP研究会の「JGAP認証取得」など新しい取り組みがスタートした年でありました。

今年の干支は丑年。子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされていることから、先を急がず目前にある課題を役職員一丸となつて取り組み、地域農業の将来を見据えたJA総合事業を展開します。

結びに、「新しい生活様式」が求められる新時代においても、組合員をはじめ地域の皆様が、将来に夢と希望を持ち続けられる地域作りへの貢献と、本年も引き続き日本一のJAを目指して参りますので、変わらぬ事業運営への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員をはじめ地域の皆様にとりまして、健やかで幸多き年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るいました。

新型コロナウイルスの脅威により、夏を彩る花火大会や、管内各地域の主要な行事が相次いで中止となり、当組合においても一大イベントであるJAまつりや、各作物部会の講習会等の中止、集落座談会や総代会等の規模縮小開催等の対策を講じさせて頂き、ご不便をお掛けしたについてお詫び申し上げますとともに、御理解と御協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍の厳しい状況は本年も続きますが、一日でも早い終息を願いつつ、「ウィズコロナ」という視点で、組合員をはじめ、地域の皆様に安心して当組合をご利用頂けるよう対策を講じながら、新たな活動の在り方を提案して参りたいと思います。

さて、昨年は7月から西日本を中心に続いた豪雨や本県では梅雨明け宣言されないほど長引いた梅

雨、そして、その後の猛暑と昨年も異常気象に見舞われました。

特に7月に大雨が続いた際には農作物等への被害が懸念されましたが、農家組合員の皆様の懸命なご努力により、秀でた農作物を出荷頂きましたことに、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。

本年につきましては、第144回秋田県種苗交換会が9年ぶりに能代市で開催されます。地元JAとして、万全な協力体制を図り挑む所存であります。

農家組合員の皆様におかれましては、白神ブランドの品質の高さを県内外に示す絶好の機会でもあります。

多数の白神農畜産物の出品をご期待申し上げます。

また、昨年は秋田米新品種のネーミングが「サキホコレ」に決定し沸いたことは記憶に新しいところではありますが、令和二年産の稲作を振り返ってみますと、東

## 謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

理事

工藤 巖

代表理事専務

工藤 寿博

理事

小川 繁

常務理事

伊藤 淑人

理事

石山 淳子

理事

戸松 博美

理事

佐藤 静子

理事

池端 勝尚

代表監事

桂田 和弘

理事

藤田 祐紀

常勤監事

松嶋 須直

理事

永塚 誠司

監事

塚本 幹夫

理事

男鹿 栄子

員外監事

石郷岡 章

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。